

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

中心市街地地区

令和7年12月

高知県高知市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	高知県	市町村名	高知市	地区名	中心市街地地区			面積	148ha
交付期間	令和元年度～令和6年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	640.9百万円	国費率	令和元年度 45% 令和2～6年度 50%		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名													
		基幹事業	公園(丸ノ内緑地、藤並公園、横堀公園)												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業													
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	交付期間の変更	当 初	R元年～R5年		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし								
	変 更		R元年～R6年												
4)定性的な効果発現状況	指 標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定期間				
	指標1	公園使用許可日数	日/年	43	H30	64	R6	モニタリング	評価値	71(R6)	○	あり	なし	公園再整備によるイベント利用環境向上により、来街者の増加につながるイベントが開催され、公園使用許可日数が増加したと考えられる。	-
	指標2	歩行者通行量	人	114,221	H30	114,569	R6	モニタリング	評価値	114,913(R6)	○	あり	なし	中心市街地における商店街の取組や各種イベントの開催など、複数の活性化施策が展開されたことにより来街者が増加し、回遊性が高まった結果として歩行者通行量が増加したものと考えられる。公園の再整備は、これらの取組を支える受け皿として一定の役割を果たしたと評価できる。	-
5)実施過程の評価	指 標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定期間				
	その他の数値指標1														
	その他の数値指標2														
	その他の数値指標3														
実施内容	実施内容				実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた										
	官民連携による取組	地域や関係団体と連携したワークショップや意見聴取を実施し、イベント開催等まちのにぎわい創出につながる再整備計画を策定した。			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
持続的なまちづくり体制の構築	モニタリング	—			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	官民連携による取組				都市再生整備計画に記載し、実施できた				● イベントの開催等公園の利用状況を定期的にモニタリングし、効果検証及び改善を継続的に行う。						
	持続的なまちづくり体制の構築	—			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

中心市街地地区(高知県高知市) 都市再生整備計画事業の成果概要